

Monthly Magazine Matsunami

[発行]社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

2018 August

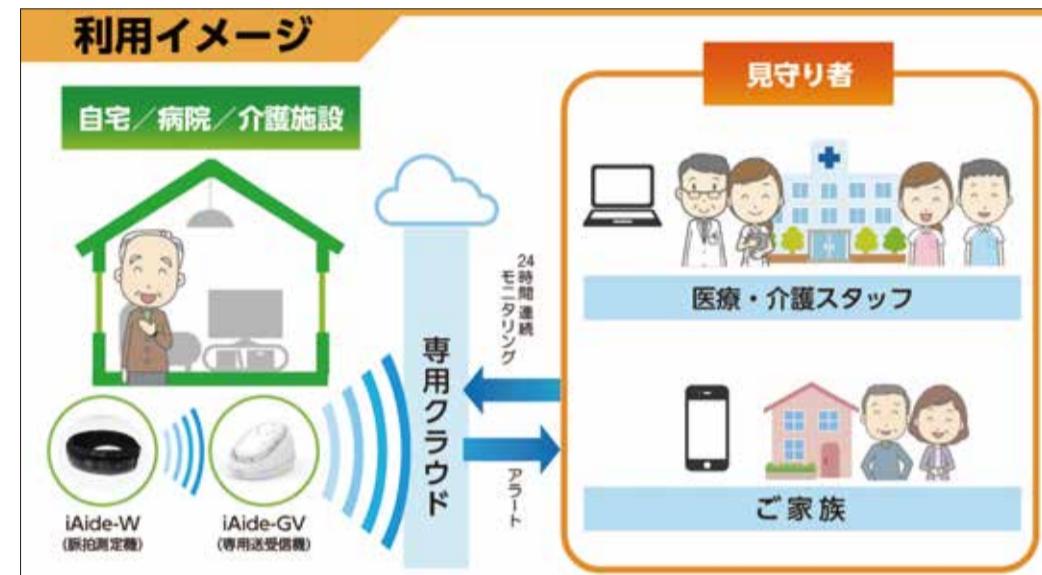
8
No.226

在宅患者管理システム「いつでもウォッチ®」の合同記者発表を行いました。

2018年6月22日(金)に、当院のMGHホールにて、在宅患者管理システム「いつでもウォッチ®」の合同記者発表を行いました。

在宅医療が抱える課題を解決するため、当法人理事長 松波英寿(羽島郡医師会長兼任)が在宅患者管理システム「いつでもウォッチ®」を考案しました。その考えを実現させるため、株式会社トーカイ、TDK株式会社、昭和電機産業株式会社との共同での検討の結果、機器の「アイエイド®」が誕生しました。この「いつでもウォッチ®」システムで使用する「アイエイド®」は、4月12日付で国から指定を受けた第三認証機関から「クラスII」の医療機器認証を受けました。「アイエイド®」には、ナースコールと同じく患者に異常が起きた際に通知する「マイドワターコール®」の機能を有しています。この機器を腕時計のように装着することで、24時間の生体情報(現時点では脈拍数)がかかりつけ医などの電子媒体(パソコン等)に送信されます。脈拍の異常や患者本人からのアラートを感じた際に、かかりつけ医が早急に経過等を含めた状態の把握が可能になります。その後、医療・介護従事者が迅速に駆けつけることができ、必要な処置が行えます。

今回の合同記者発表では、松波理事長とともに、株式会社トーカイの代表取締役社長の小野木孝二氏と、開発に至った経緯や実際の画面の紹介、実稼働に向けての今後の展望などを合同で発表しました。「いつでもウォッチ®」システムが一日でも早く実稼働することで、今後の在宅医療の現場で役立てられることを目指していきます。



第4回 出張!まつなみがん検診塾 を開催しました。

Matsunami Information

NEWS

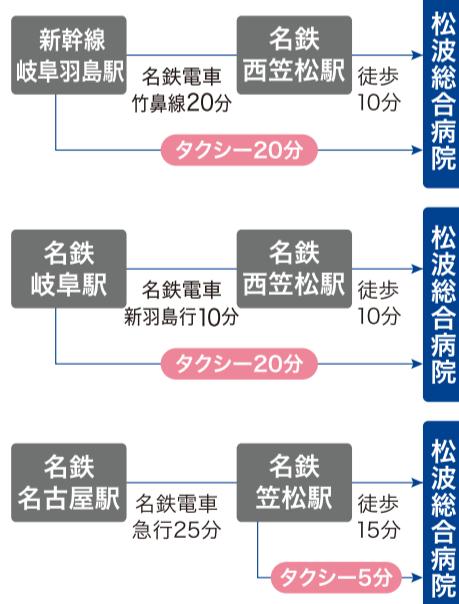
西日本豪雨の被災地に、AMAT(全日本病院医療支援班)を派遣しました。



7月に、西日本を中心に発災した「西日本豪雨」に、全日本病院協会災害対策本部から出動要請があり、岡山県にて当院のAMATが災害医療活動を行いました。主な活動内容として、避難所での救急患者の病院搬送支援などを行いました。避難所の状況は、長期の避難所生活による持病の悪化、酷暑による熱中症、皮膚・目の感染症などが発生していました。1日も早い、被災地の復旧・復興を祈念いたします。



交通のご案内



講演会・セミナーのお知らせ

第21回市民公開講座

日 時	2018年8月18日(土)14時00分～16時00分
場 所	社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 MGHホール
定 員	先着100名 ※事前申込制 (TEL:058-388-0111 市民公開講座事務局)
内 容	参加費 無料 特別講演1 「消化器良性5疾患」～逆流性食道炎・胃潰瘍・脂肪肝・胆石・便秘～ 講師：松波総合病院 副院長兼第一消化器内科部長 田上 真 特別講演2 「ここまで変わったHIV/AIDS診察」～実は身近な感染症、長期療養時代を迎えて～ 講師：松波総合病院 病院長代理 鶴見 寿
運 営	主 催：松波総合病院 共 催：濃尾医療連携研究会 後 援：笠松町

松ゼミ (松波ナーシングスキルアップセミナー)	医療職の方なら、どなたでも参加できます
テーマ 糖尿病看護のアセスメント・糖尿病患者の支援方法	日 時 2018年8月27日(月)17時30分～(受付 17時15分～)
場 所 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 MGHホール	講 師 糖尿病看護認定看護師・慢性疾患看護専門看護師 山田 吉子
講 師 共 催 羽島郡在宅医療サポートセンター	

がん患者・家族のつどい 2018年度年間計画

月	テマ	講 師
5月	チューブ体操	理学療法士
7月	がんのお話	消化器内科 伊藤康文 第二消化器内科部長
9月	フットケア	外部講師
11月	アロママッサージ	外部講師
1月	がんのお話	消化器内科 伊藤康文 第二消化器内科部長
3月	栄養のお話	栄養士
予備	メイクアップについて	

開催日 第4火曜日14時00分～
場 所 社会医療法人蘇西厚生会 まつなみ健康増進クリニック 1階 化学療法室ラウンジ
お問い合わせ 058-388-0111(代)
がん化学療法看護認定看護師 野々垣まで



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院
〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1
TEL 058-388-0111(代)
FAX 058-388-4711
<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>

第4回 出張!まつなみがん検診塾👍を開催しました。



2018年6月30日(土)に、愛知県一宮市のイオンモール木曽川で、第4回「出張!まつなみがん検診塾👍」を行いました。

近年のがん患者の増加や、がんとの闘病を有名人が公表する姿などから、がんに対する意識、関心が高まっています。そうしたなかで、当院では地域住民の皆さんに、がんの早期発見・治療の大切さを正しく理解していただくため、がん検診の啓発活動として、このイベントを3年前から年に2回ほど開催しています。

今回のイベントでは、前立腺がん、乳がん、肺がん、子宮頸がん、大腸がんに関する体験型ブース、パネル展示、クイズラリー、お子様から親御さんに向けてのメッセージカードの作成、グッズのプレゼントなどを行いました。イベント当日は、来場者の方のお悩み・ご相談につつでも多くお応えできるよう、医師・看護師だけでなく、理学療法士、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師なども参加しました。イベントを通じて、がん検診の受診を検討された来場者の方に対して、受診の流れや料金の説明を行い、さらに検診への意識を高めていただきました。

また、今回から、風船の配布を行いました。片側に当院のロゴと病院名、もう片側には「パパ、ママがん検診受けてね!」というメッセージを入れ、お子様から親御さんにがん検診を呼びかけ、家族内でがん検診の啓発を行うことを目的として、風船に記載しました。

今回のイベントを通じて、「病院の外来受診では、なかなか相談しづらいことも、じっくり相談することができた」という声を聞くことができました。今後も、地域住民の皆さんにがんの早期発見・治療の大切さを理解していただき、がん検診の啓発活動の一環として「出張!まつなみがん検診塾👍」の活動を展開してまいります。



まつなみ健康増進クリニック クリニック長 花立 史香

去る2018年6月30日に「出張!まつなみがん検診塾👍」がイオンモール木曽川で開催されました。いつも、存続の危機にさらされながら、今回で4回目を迎めました。当初行っていた、スライドを使用しての講義形式の市民講座は来場者が買い物中ということもあります、足を止めて傾聴していただくことが難しく、前回から見直しを行いました。私も過去2回、かなりの時間を使って講義の準備をしましたが、いざ本番では売れない演歌歌手ながら、悲哀を感じないわけには行きませんでした。

代わって現れたのが疾患別(前立腺がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん)の企画ブースでした。前回は初回ということもあって、慣れない中で頑張りましたが、集客力という点で、今ひとつ手応えでした。そして満を持しての今回は、企画立案から当日の運営までスムーズに運び、さらに風船の配布など豊富なアイデアもあり、過去最高の盛り上がりとなりました。この催事の目的は言うまでもなく、がん検診をひとりでも多くの方に、知って、考えて、受けさせていただくことですので、来場者が少なくては話になりません。その点、今回は多くの方に興味を持っていただき、その目的は達成されたと思っています。次回はさらに、わかりやすく、興味を惹く内容で開催する予定です。皆さんよろしくお願いします。

乳がん

乳がんブースでは、セルフチェック方法を説明したり、乳がんモデル模型を展示し、実際に触れてもらいました。女性はもちろんのこと、ご主人やお子様も一緒に体験してくださり、多くの方々に关心を持っていただけたと思います。乳がんの超音波モデルを使用し、乳がんが画像ではどのように見えるかも実演しました。乳がんを患う日本人女性は11人に1人と言われていることもあり、乳がん検診に関する質問も多く聞かれました。これをきっかけに一人でも多くの方が検診を受けてくださいますように。



▲乳がんを理解するため、モデル触診と超音波機器を使用。

前立腺がん

前立腺がんブースは、昨年度より2回目の開催となりました。前立腺の症状として排尿に関するセルフチェックを行い、今後の目安にしてもらうことが出来ました。男性の高齢者に多く見受けられるデリケートなお悩みですが、若い方から高齢者まで、中には女性の方もご家族の事を思い、興味深く真剣に医師からの説明を聞く姿がありました。自分らしい人生を歩むためにも、早期発見が大切です。50歳を過ぎたらPSA検査をぜひ、松波総合病院 泌尿器科で!!お待ちしております(^^)



▲前立腺がんセルフチェック後に、看護師から説明を受ける来場者。

肺がん

肺がんブースでは、呼気で喫煙依存度を調べたり、喫煙のリスクや禁煙グッズのご案内をしました。喫煙場所が少なくなっている事もあり、世間の禁煙への意識は高く、来場者の方からも「何年か前にタバコは止めたよ!」という声が多く聞かれたのも事実です。中には止めたいけど止められない方や、ご家族が禁煙に協力的なのにに対して自身は全く禁煙に興味のない方など、さまざまな方にご来場いただきました。喫煙によるさまざまな影響について再認識していただく機会になったと思います。



▲喫煙依存度を測るため、アンケートと呼気による測定を実施。

子宮頸がん

子宮頸がんブースでは、「子宮頸がんリスクチェック」を行い、ご年配の方からお子様づれの女性の方まで多くの方々にご来場いただきました。女性は、日頃、仕事やご家族の都合に追われて自分のことは後回しになりますが、リスクチェックを通して、検診に興味を持っていただけだと思います。産婦人科の市古医師にも多くの質問が寄せられ、関心の高さが伺えました。お子様達が心を込めて作った、「ママ、がん検診受けてね」のメッセージカードを贈られ、笑顔の花がいっぱい咲きました♪



▲タブレットで子宮頸がんリスクチェックを行うご家族。

大腸がん

大腸がんブースでは、「大腸がんクイズラリー」を行いました。お子様からご年配の方まで300名という非常に多くの方にご参加いただきました。「会社勤めの頃は検診を受けていたが、退職後は受けなくなった」という方も多い、今回のイベントに参加して「改めて検診を受けようと思う」という声を数多く聞くことができました。検診を受けられていない親御さんに対し、お子様が「えっ、検診受けてないの?」と聞く場面もあり、ご家族で検診について考える機会にもなったのではないかと思います。



▲大腸がんクイズラリーの答え合わせをする様子。

人間ドック

5つのブースで話を聞かれた方々から、がんで気になる部位のご質問や、検診に関するお問い合わせなどをいただきました。担当者からは、受診の流れや料金の説明などを行い、実際にがん検診を受けていただく際のイメージを掴んでもらえたかと思います。また、今回は女性からの乳がん検診の質問や受診の希望などが多く、当院で年に2回実施している「日曜乳がん検診」のご説明も行うことができ、次回の10月開催の受診にも繋げることができたと思います。



▲検診の流れや料金などを説明。